

学校用配付資料

家庭学習のスタンダード

～学校と家庭がつながる4つの視点～

視点 1

学級や学年を越えて、児童生徒に一貫した家庭学習の習慣を育むために

学校全体で組織的に取り組もう

視点 2

自ら学ぶ力を育むために

家庭学習は「宿題＋自主学習」と共通理解しよう

視点 3

授業と家庭学習とのつながりのために

授業改善を図り、家庭学習につなげよう

視点 4

保護者との協力のために

家庭用配付資料「子どもが伸びる家庭学習」を活用しよう

岡山県教育委員会



ももっち うらっち
岡山県マスコット

家庭学習のスタンダードについて



全ての児童生徒に基礎的な知識・技能をしっかりと身に付けさせ、それらを活用し、主体的に考える力を育てていくためには、生涯に渡って主体的・意欲的に学び続ける「主体的な学習者」を育てる観点から、学校教育と共に、家庭学習の充実にも取り組んでいくことが重要です。

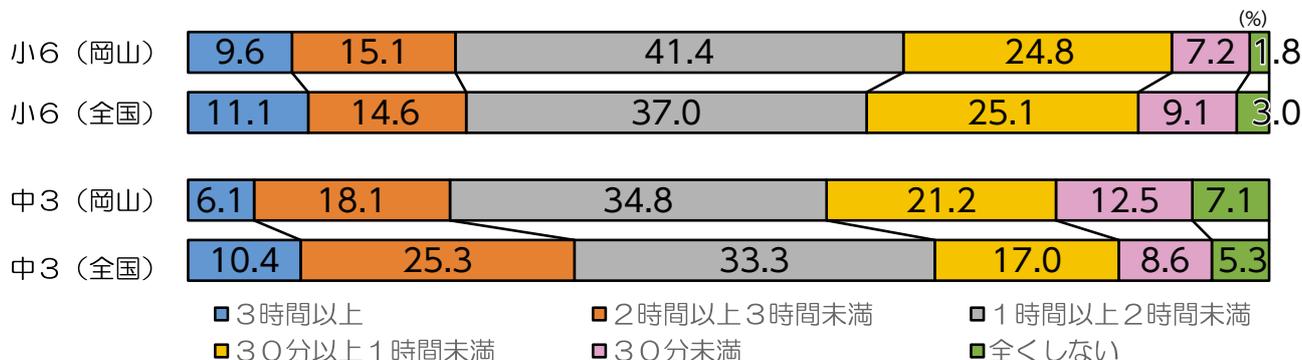
全国学力・学習状況調査に関する大学の研究においても、家庭の経済的状况等、不利な環境を克服する学校の取組として「家庭学習の充実」を挙げ、「宿題+自主学習」「教師が読み、コメントするなどして返す」ことに大きな効果があるとしており、経済格差を学力格差につなげないためにも積極的な取組を求めています。

家庭学習の充実は生活習慣の改善と大きな関わりがあり、特に近年ではスマートフォン・ゲームの使用時間が増加の傾向にあり、家庭での学習時間の確保に影響していると考えられることから、「学習習慣の確立」と「生活習慣の改善」を併せた取組が求められます。

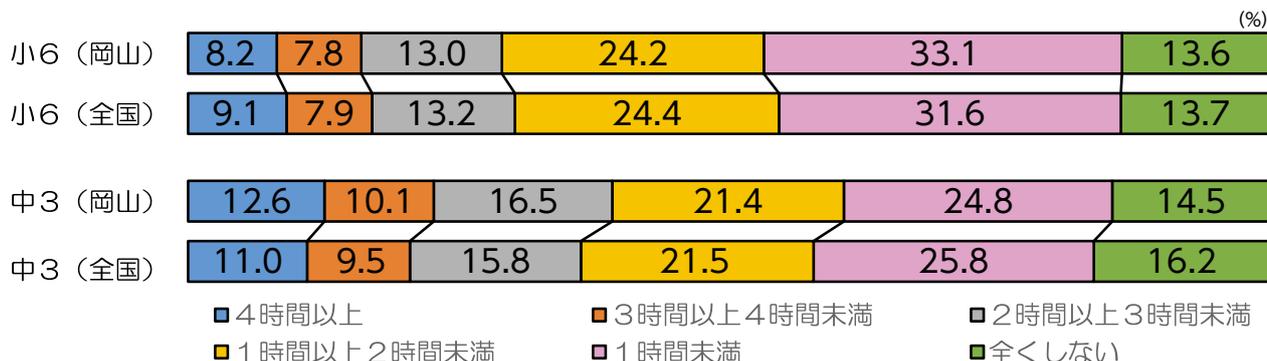
このたび、県教育委員会では、学習指導を通じ押さえるべき基本的な点を示した「岡山型学習指導のスタンダード」(平成26年6月)に加え、更なる家庭学習の充実と、学校と家庭とが連携し、子どもたちの学習習慣づくりに取り組むため、4つの視点を軸として「家庭学習のスタンダード」をまとめました。

各学校・家庭における取組を更に進め、児童生徒の「自ら学ぶ力」を、粘り強く育てていきましょう。

■学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む) 資料：平成27年度全国学力・学習状況調査



■普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか 資料：平成27年度全国学力・学習状況調査



<視点1> 学校全体で組織的に取り組もう

家庭学習について定期的に話し合うなど、共通理解の機会を設ける

これ大切



各学校では様々な工夫をしながら家庭学習に取り組んでいますが、学級や学年が変わると違った指導方針になっていませんか。発達段階に応じた適切な家庭学習の在り方について教員が共通理解を図るとともに、日々の宿題についても、出し方や内容、量について、教員間で適切に調整することが必要です。

また、家庭学習の効果的な指導や点検・評価の仕方など「より望ましい家庭学習」について、教員同士で話し合う機会を定期的に持ち、好事例を共有しましょう。

HINT
!

学校の家庭学習の方針を決めるだけでなく、それを基に話し合う

多くの学校が家庭学習の手引きを作成し、学校としての方針を決めています。その方針に基づき、学級や教科で取組にばらつきがないか、児童生徒の実態や学校の課題を踏まえているか、定期的な確認と共通理解を図ることが重要です。

特に家庭学習の内容や量については、日々の実践の中で、学級や教科で適切な調整を行う必要があります。中学校は教科担任制であるため、例えば、教室や職員室で「宿題を可視化」し、宿題の内容や量を日常的に調整するような仕組みも有効です。



HINT
!

小中連携、家庭と学校の役割分担など、協力体制を構築する

「小学校では毎日ほぼ同じ量の宿題が出されていたのに、中学校では一度にまとめて出される」「中学校に進学すると急に自分で勉強することが求められ、生徒が戸惑う」といった状況が生じていませんか。家庭学習も児童生徒の立場に立ち、学校間の接続を意識した取組が必要です。

例えば、中学校区で統一して家庭学習強化週間を実施するなど、地域全体で取り組むことは、保護者の協力も得られやすく有効です。PTAの協力体制の強化や通信を活用した保護者への情報提供を行い、学校と家庭の役割を理解して児童生徒を支援する体制を構築することも大切です。

<p><主に学校の役割></p> 	<p><両者の役割></p> 	<p><主に家庭の役割></p> 
<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な知識や技能の習得（分かる授業） ・習得した知識や技能の活用 ・学習ガイダンス（手引き） <p>方針の統一・小中連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自主的・主体的に学ぶ態度 ・目標に対して計画的に取り組む力 ・粘り強くやり遂げる力 <p>「家庭学習の手引き」で共通理解して子どもをサポート</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的生活習慣 ・個性に合う学習方法の確立 ・テレビなどの誘惑に負けずに取り組む力（自律心）

<視点2> 家庭学習は「宿題＋自主学習」と共通理解しよう

家庭学習は、宿題だけでなく自主学習にも取り組む

これ大切

家庭学習は「宿題」が基本であり、知識理解の定着には復習が重要です。それに加えて、自ら学習課題を見出して学び続ける学習者を育てるために、苦手としている問題や興味・関心を持ったことを調べる「自主学習」も家庭学習の内容であることを共通理解して、取組を進めることが重要です。

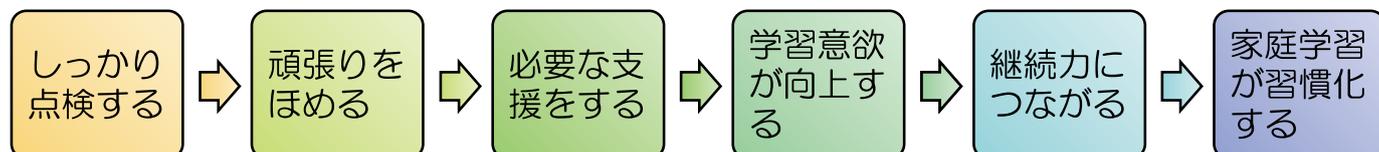
基礎・基本の定着を図る宿題に取り組む中で、「自分に必要な学習って何だろう？」と考えることは「自ら学ぶ力」の育成に極めて重要です。こうした宿題に加えて、自主学習にも時間をかけて徐々に質を高めていくなど、計画的な取組を進めましょう。

HINT

家庭学習は、児童生徒のやる気を支える「点検・評価の工夫」が重要です

家庭学習の習慣は、自然に身に付くものではなく、学校や保護者の適切な指導・支援の下で、徐々に身に付いていくものです。そこで大切なのは、点検・評価の工夫です。頑張りを認め、ほめることは、児童生徒への大きな励ましとなり、継続力を支え、家庭学習の習慣化につながります。

また、点検・評価を通じて、児童生徒一人一人の習熟の状況を把握し、日々の授業や補充学習での指導に生かし、基礎的・基本的な内容の定着を図っていくことも重要です。



HINT

目標の家庭学習時間が達成できる、「内容と量」を考える

家庭学習の課題を、ある1日にまとめて学習することは望ましくなく、知識の定着にもつながりません。毎日取り組む習慣を身に付けることが大切であり、そのための家庭学習の内容と量を考える必要があります。また、授業の復習だけでなく、学期や学年を越えた復習を意図的に盛り込むことで、知識の着実な定着につながります。

宿題などの家庭学習にかかる時間は、児童生徒一人一人によって大きく異なります。児童生徒の実態に応じて、最低限すべきことと、自主学習を含めた意欲的に取り組むべきことの優先順位を明確にするなど、個に応じた工夫をすることも大切です。

<宿題の時間>

- 日課題
- 週課題
- テスト対策のプリント



<自主学習の時間>

- 復習や予習
- 興味のある内容の調べ学習
- 自主的な問題演習

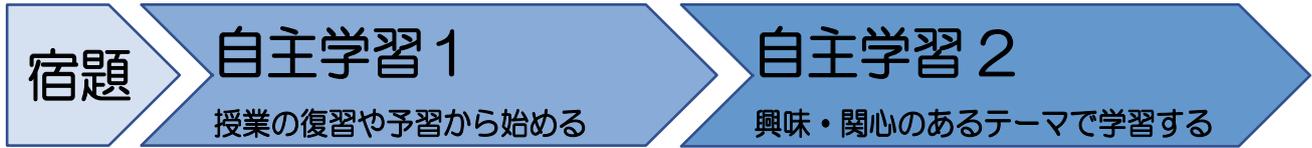


<目安の学習時間>

- 小学校
(学年)×10分 以上
- 中学校
2時間 以上



「自ら学ぶ力」の育成の観点から、自主学習を計画的に取り入れる



教科書の練習問題を自主的な課題としたり、家庭で新聞を活用した調べ学習をさせたりと、既に多くの学校で自主学習につながる取組をしています。これらの取組を見直し、**教科指導の観点に加え、「自ら学ぶ力」を育む観点から、自主学習を意図的・計画的に取り入れることが必要**です。

また、自主学習は、短期間で質を高めるのは難しく、長い時間をかけて取り組むことで質が高まると考えられるため、**小学校の低学年から計画的に取り組ませることが重要**です。

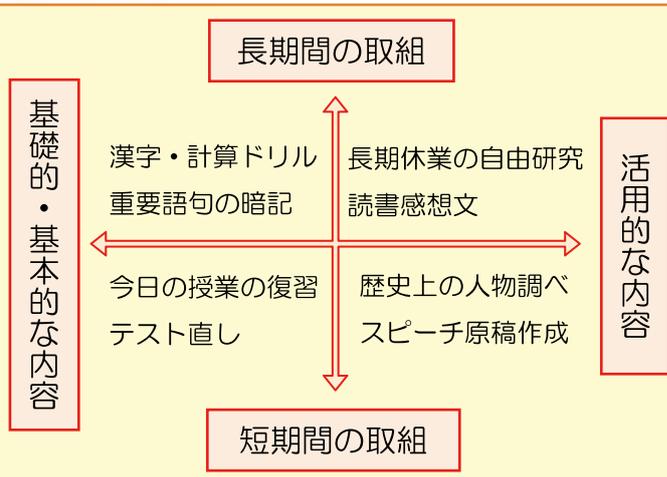
そのためには、自主学習の取組例を示したり、授業で自主学習ノートを作る練習をしたりと、学校や学年として統一して行うべきことは何かをしっかりと話し合い、学校全体で共通理解し、組織的に指導することが大切です。

疑問	何に取り組んだらいいのか分からない	自分に合う教材が見つけられない	どんな自主学習ノートにすればいいのか分からない
事例	自主学習の取組例を示す  瀬戸内市立美和小学校	自由に利用できるプリント  浅口市立金光小学校	自主学習ノートの展示  浅口市立六条院小学校

<家庭学習の課題を分析しよう>

学校で家庭学習を話し合う際に、家庭学習を長期的・短期的といった取組の時間軸、基礎的・基本的、活用的といった内容面の軸に分けて整理してみると、現在の家庭学習が意図的・計画的な取組となっているかよく分かります。

児童生徒の実態を踏まえた家庭学習となっているかを確認してみましょう。



<視点3> 授業改善を図り、家庭学習につなげよう

これ大切

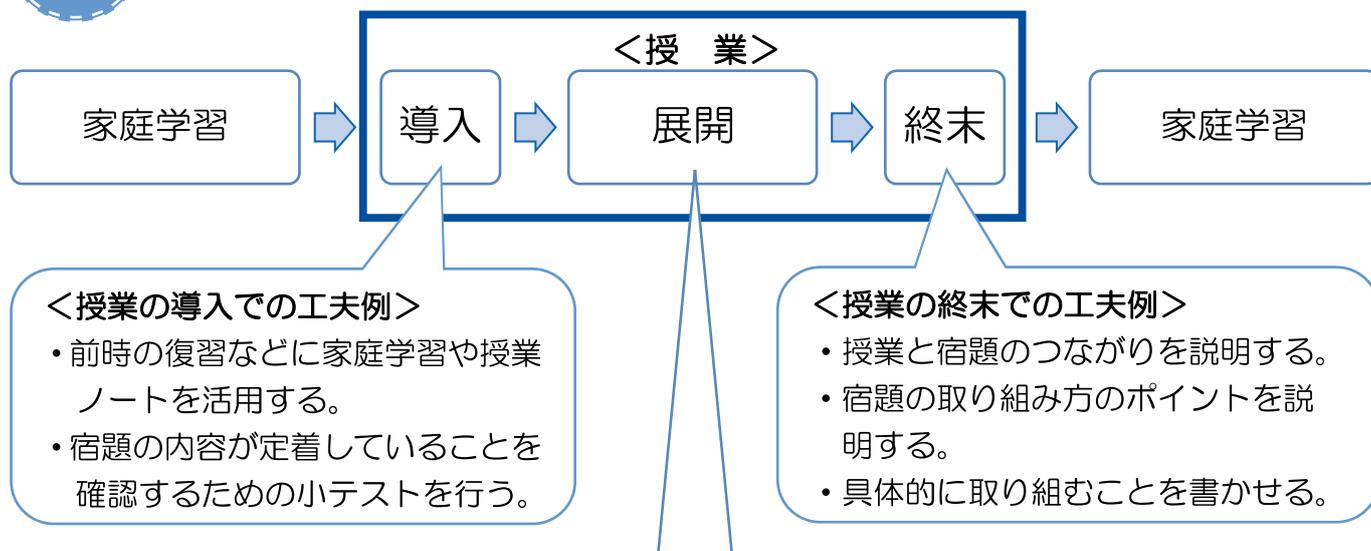


教科書とノートをしっかり活用した授業をする

家庭学習において、教科書やノートを活用できることが大切です。そのために家庭学習を意識し、「めあて」と「まとめ」を明確にした授業を行いましょう。また、授業のノートを基に、家庭で復習できるようにすることが大切です。

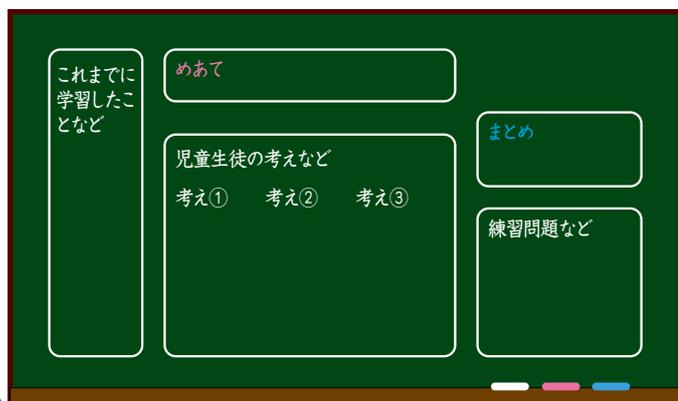
HINT
!

授業とつながる家庭学習の課題を出しましょう



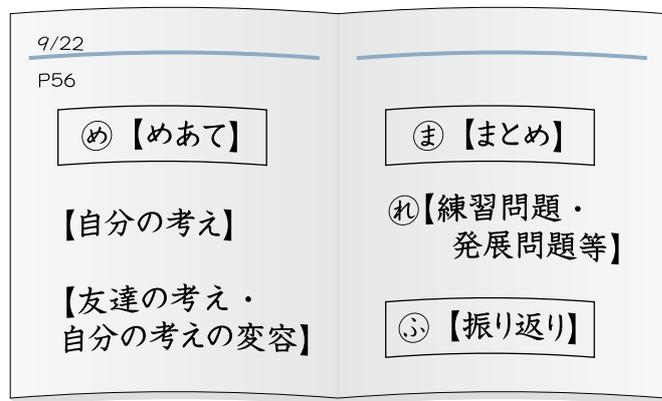
学びの道筋が分かる板書

学びの道筋が分かるように構成を考えて板書し、特にまとめを工夫して、基礎・基本の定着を図りましょう。工夫した板書が、家庭学習を支える授業ノートにつながります。



学習を振り返られるノート

一単位時間の授業で、何を学んだのか、どのように学んだのかを振り返ることができるノートにすることで、効率よく復習することができ、学習内容の確認や定着がしやすくなります。



Point

家庭学習になかなかつながらない児童生徒には、基礎・基本の定着のために、習熟度別指導や授業外の補充的な学習を充実させましょう。その際、学習の仕方も指導し、出来たことはしっかりほめ、学習意欲の向上に粘り強く取り組みましょう。

<視点4> 家庭用配付資料「子どもが伸びる家庭学習」を活用しよう

家庭学習の手引きを活用して、保護者に丁寧に説明する

これ大切



「子どもが伸びる家庭学習 ～子どもの学びを支える3つのポイント～」や各校で作成している「家庭学習の手引き」などを利用して、保護者に協力してもらいたいことなどを、丁寧に説明しましょう。

保護者へ
お願い!

子どもを支える学習環境づくりへの協力を求める

(※家庭用配付資料 P.1 参照)

子どもとの時間

- 自然の中で一緒に過ごすなどのふれ合いを大切にす。
- 今日の出来事や将来の夢などについて話をする。

各家庭における「家庭学習のルール」の設定

家庭学習の3つの約束	①始める時刻 ②学習場所 ③学習量
学習環境を整える	①学習場所の整理 ②準備（辞書など）をしてから学習 ③終わったら、片付けと次の日の準備

保護者へ
お願い!

まず宿題、次に自主学習、保護者と共通理解して習慣化を目指す

(※家庭用配付資料 P.2 参照)

宿題

- 小学校低学年の間は、出来るようになるまで保護者の関わりを求める。
- 宿題の後に、自主学習にも少しずつ取り組めるような支援を求める。

自主学習

- 小学校の低学年から徐々に取り組むようにする。
- 授業とのつながりを意識しながら、取り組み方や具体例を示す。
- 丁寧に評価を行い、特に、ほめることを大切にすることで更なる意欲向上につなげる。



新聞記事の要約

保護者へ
お願い!

望ましい生活習慣は全ての根幹なので粘り強い関わりを求める

(※家庭用配付資料 P.3 参照)

望ましい生活リズム	メディアコントロール	<保護者と協力する取組例> メディア使用と学習時間を「±15分」 生活改善で学習習慣を身に付けよう。
早寝・早起き・朝ごはん	時間・場所・使い方	

<参考1> 自主学習ノートのレイアウトについて

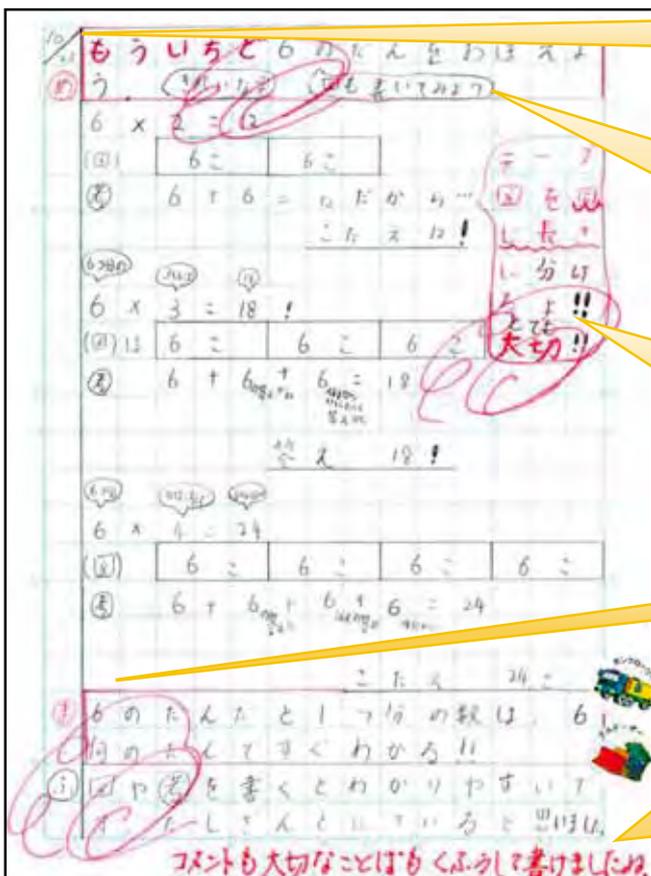
自主学習の進め方は学校で丁寧に指導する

これ大切



自主学習の目的を明確にするために「めあて」を書くなど、授業で身に付けた学びの手順と同じように自主学習ノートがまとめられるなど、自主学習の進め方については、学校で丁寧に指導しましょう。

○自主学習ノートの基本例（学年や発達段階に応じて、少しずつステップアップ！！）



①「日付」「始めた時間」などを書く。

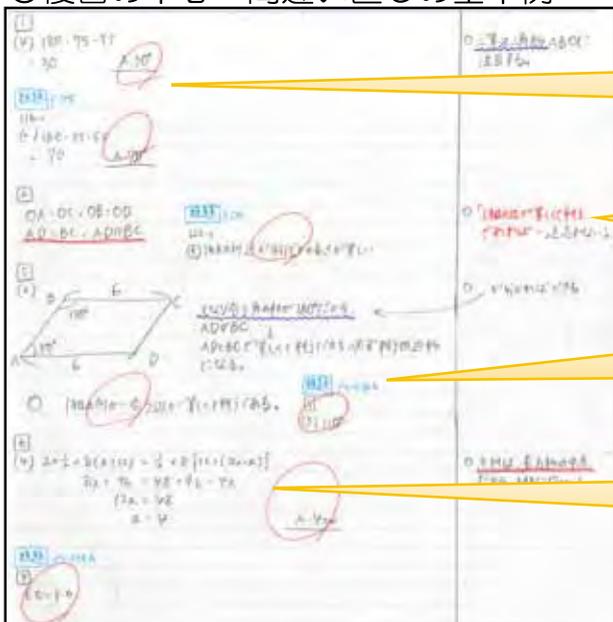
②学習の「めあて」を書き、自分なりの学習の目的（予習や復習など）を意識させて取り組ませる。

③学習する過程で、解いた手順（図、表）、覚えるべき内容など、自分で考えてかかせる。

④学習後に感想などの自己評価をさせる。

※保護者や担任の感想などのコメントは、やる気のある大きな支えになります。自主学習ノートがコミュニケーションツールになることが理想です。

○復習の中心：間違い直しの基本例



①間違った問題を写したりはったりして、間違い直しをする。

②ノートの右に欄を作り、間違った理由や解くために必要な知識などをまとめる。

③間違った問題の「類題」を解き、理解度を確認させる。

④解き直しや類題など、答えだけでなく、答えを出す過程も記述させる。

<参考2> 県内の様々な好事例について

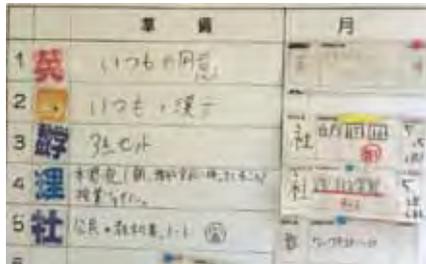
宿題の可視化

昇降口に宿題を掲示



赤磐市立吉井中学校

教室の掲示板上に宿題を掲示



玉野市立東兎中学校

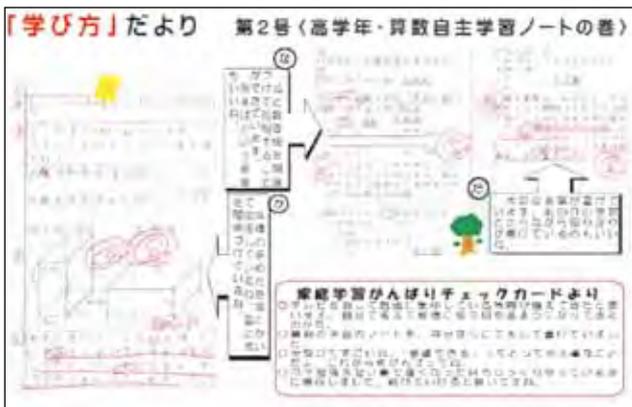
職員室前に宿題を掲示



奈義町立奈義中学校

保護者への啓発

家庭学習に関わる学校・学級通信



笠岡市立大井小学校

学習の様子 の点検シート



和気町立佐伯中学校

自主学習ノートの例

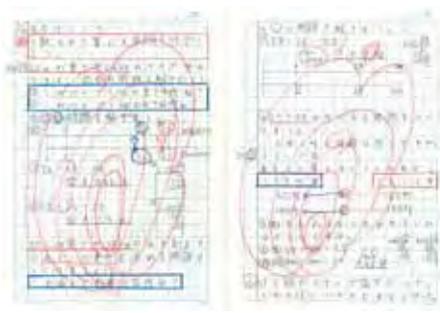
昆虫についてのレポート



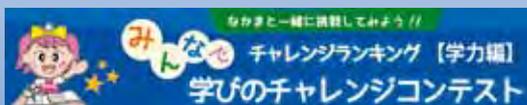
新聞記事を読んだ感想



授業内容の確認・整理



義務教育課ホームページで自主学習ノートを掲載中



<http://www.oka-challan.jp/Study/>

「学びのチャレンジコンテスト」では、授業の復習や関心のある内容の調べ学習など、様々な自主学習ノートを掲載しています。ぜひ参考にしてください。



A large, empty rectangular box with a black border, intended for writing the 'My Practice Record'.



A large, empty rectangular box with a black border, intended for writing the 'My Practice Record'.



平成27年11月発行
岡山県教育委員会